

平和な村づくりの礎

公民館活動

二、公民館運営上の方針

前号では公民館設置の趣旨と目的に就て記述致しましたが、本号では公民館運営上の方針に就て申述べましよう。

公民館は図書室や産業補導的な施設や、その他社会教育上必要な設備を充実して我等村民が楽しんで何時でも気軽に此處に出入りし、政治、教育、産業其の他のあらゆる問題について研究し教え導き合つて御互いの教養文化を高めながら産業の振興を圖り豊て平和な明るい村づくりの基盤たらんとする民衆的な社会教育機関であります。

而して公民館は堅苦しい窮屈な場所でなく、出来るだけ明朗な楽しい場所となる様にして、村民の親睦交誼を深め、相互の協力和合の精神を培ひ、村民自治向上の原動力となるべき社交機関となる様にして、個人的にも団体的にも大いに此處を活用してもらひ、村民に亘つて大事な墳墓の地田代から精神的にも経済的にも弊害の伴ふ飲酒外交を少くし伝統ある郷土の淳風美俗を守り育てゝ行かなければなりません。

亦公民館は文化的で平和な明るい村づくりを基盤にして、日本再建を圖り世界人類の平和に貢献する云ふ高遠なる理想の下に、運営されなければならないのであるから、学校や農協や其他村内に於けるあらゆる機関が一致協力して此の運営に参加してもらひ、教化活動と産業指導の活動が総合的に推進され、村民の教養文化の向上を図り、之を基礎にして郷土産業を振り興す中心機関ともしなければならないのです。其の為に当公民館には公民館運営審議会を設け各学校長PTA会長、村議会の議長副議長、農業協同組合長、郵便局長、教育民生委員長、民生常務委員長、東部振興会長、青年学級常任講師、村婦人会連絡協議会長、同副会長、村青年団連合会長の方々が運営審議委員の任を担当され、之等の方々が真摯な態度で公民館運営に当つて居られますので、村民の皆様の公民館に対する深い御理解ご心からなる御支援がありますならば、田代村に於ける公民館活動の将来には、期して待つべきものがある事を確信致して居ります。

合つて気軽に自由に話しあう間に、自分の持つて居る意見は率直に述べ、人の意見は良く傾聽する習慣を養ふ訓練の実習地となる様に運営しなければなりません。

亦各方面の中央講師をも招いて、講習会講演会等を開催し、村民が出来るだけ中央の人に接触する機会を造り、郷土の文化と中央の文化とが交流し合う場所にして、荒西山麓に立ちこめられた田代の文化水準を少しづつでも中央のレベルに近づける様な努力が払はれなければなりません。尙公民館は全員のものであり、全村民を対象にして活動するのでありますから、村民全體が協力して戦かなければならぬことを

本村は半湿田が多く降雨日数が非常に多いので麦の栽培は非常に困難である。然し乍ら過去数年間は麦の供出をしなければならなかつたので菜種を栽培する丈の余裕がなかつたのであるが、食糧事情が好転するならば村内の妻の渠過去に於て麦栽培の為に菜種を栽培されるだけの余裕がなかつたとは云へ、やはり菜種の五、六〇町から八〇町歩まで麦栽培を疎にすることは禁物である。一枚も林閑地がない様に栽培しなければ我々農家の経済は振はないのである。本村の菜種は一本植競作会に於て、坪小野高氏の一本一升二合といふ日本的小野高氏の一本一升二合といふ日本記録を持つているし菜種を植えた後特に甘藷は最も收穫が多いといふ事は衆知の通りであり、水田菜種作も亦同様收穫は多く尙三月初旬反当一升位のレンド草を播種するならば反当五〇〇倍位のレンダ草が生産される稻の收穫は倍加されるのである。

田代村経済振興の第一歩はさうした所であります。田代村では、その他の木工品の生産もさうした所であります。田代村では、その他の木工品の生産もさうした所であります。田代村では、その他の木工品の生産もさうした所であります。

に立並べる作業を櫻起^ミ云う。寝込^ミ於て良好な成績をあげ良好な櫻木をても櫻起場の如何により子実体の發量に大いに影響する。

(1) 発芽^ミ温度 子実体の發生には温を必要^ミし 5°C ~ 15°C の範囲にて発芽^ミし 10°C ~ 12°C が良く、最適度は 10°C 内外である。 5°C 以下では不適當である。

(2) 湿度 子実体の發生時菌糸の代より生長が急激^ミなり多量の水分必要^ミし、空中湿度も 70% ~ 80% を度^ミする。水分が欠乏する時は子実の發生は困難である。また發生後晴乾燥の日が続き空^ミ中湿度が不足する子実体は發育を中止するか、菌柄はく延び傘の小さな品質の悪いものとなる。尚長期の雨天続きや浸水は櫻聲^ミは好氣性の為子実体が引続き發生せ收量の減少を來す。

(3) 日光及庇蔭度 光線は子実体形成に關係があり、光がなければ菌糸の發育が極めて悪く柄のみ細長く伸光があつて始めて菌傘が展開する。故老令林で鬱葱^ミとした屋^ミ苟^ミ暗い密では子実体の發生が少いため少々日のチラチラ入る程度を必要^ミする。

三、櫻起の場所

櫻聲^ミの發生に必要な前記温度、湿度日光の条件に適した場所であれば良いのであるが普通櫻木は寿命の有る限同一場所に置かれるから適度の通風計り雑菌の侵害を被らない様注意すべきである。實際理想的場所は、

(1) 東南に面した温暖で強風を受ず日光の照射の長い所

(2) 温度は空中湿度 80% ~ 90% を適^ミし寝込^ミ場より稍^ミ多湿であることをつて中復以下の沢、沼、水田等に比較的の平坦地がよい。

(3) 八、九割蔭^ミのさす常綠樹林下よい。杉林、シイ、カシ林等が好適あり、宅地附近で適當な場所のないは竹林、垣根下、植込樹下、蔭地等を常に利用し、尚温氣や庇蔭の不足のは人工で細竹枯枝等で屋根を作ればいい。

椎茸栽培の渠

の経験を思い起し、むかしの思想、
昔出代村民の裕福であつた時代は、奉
蚕に依る現金收入が多かつた時代で、由
在の村民経済の貧困さは蚕養が衰退し
て之に代る可き現金收入の道を開かなか
つた事が最も大きな原因であるが今後

あり沖縄への輸出が前年から行われない三〇〇石が出ている状況である。前にも述べた如く価格の推移は困難なるも価格の推移が困難なるからこそ、つて裏作を疎にする訳には行かない。我々は表の増産と共に茶種の反収のみ

を計り努力して生産量を切下げ何時何刻何なる時代が來ても引合う様研究工場として増産しなければならない。五ヶ年計画に計上した村平均一石以下の反収を揚る様努力しなければならぬ。